

《令和4年度における第5次埼玉県環境基本計画の進捗状況》

【施策指標の評価】

第5次埼玉県環境基本計画で掲げられている29の施策指標について、計画初年度である令和4年度の実績について、評価を行ったところ、下記のとおりでした。

評価	評価の基準	該当数	比率
◎	計画目標値を既に達成した指標（蓄積・累計で評価する指標に限る）	1	3%
○	年度目標値を達成している指標	16	55%
△	年度目標値を達成していない指標	4	14%
▲	計画策定時より後退している指標	2	7%
—	数値結果が未確定等の指標	6	21%
合計		29	

【施策展開の方向ごとの評価】

また、第5次埼玉県環境基本計画で掲げられている8の施策展開の方向について、上記の施策指標の評価結果を基に、計画初年度である令和4年度の実績について評価を行ったところ、下記のとおりでした。

評価	評価の基準	該当数	比率
A	全ての指標が「◎」又は「○」	3	38%
B	「△」となった指標が一つ以上ある	2	25%
C	「▲」となった指標が一つ以上ある	2	25%
—	全ての指標が未確定	1	12%
合計		8	

施策指標進捗状況評価シートの見方

方向ごとの評価
(A、B、C、－)

施策展開の方向

1 ○○の推進
施策展開の方向ごとの評価

状況	各施策指標の進捗状況					
指標の達成状況	各施策指標	策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	
指標の達成状況		策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	
指標の達成状況		策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	
指標の達成状況		策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	

各施策指標の評価結果
(◎、○、△、▲、－)

令和4年度の実績と
令和4年度の目標の比較

1 気候変動対策の推進

施策展開の方向ごとの評価

A

状況	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの排出量削減率について、引き続き再生可能エネルギーの普及拡大や更なる省エネの推進等により、温室効果ガス排出量の削減を図っていく。 ・新車（乗用車）販売台数における電動車の割合は、年度目標値を大幅に上回り、達成した。今後も事業者と連携した啓発等によりEV、PHVの普及を促進していく。 						
指標の達成状況	温室効果ガスの排出量削減率 (平成25年度比)	%	策定時 H30年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	(参考値) R2年度
-			12	-	16.6	24%以上	16.9
指標の達成状況	新車（乗用車）販売台数における電動車の割合	%	策定時 R元年	最新値 R4年	当該年度目標値 R4年	目標値 R8年	
○			39.9	51.8	38.6	56.0	

2 資源の有効利用と廃棄物の適正処理の推進

施策展開の方向ごとの評価

—

状況	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物の再生利用率について、今後も事業者や市町村と連携し、再生利用の取組を進めていく。 家庭系ごみの1人1日当たりの排出量について、引き続き県民の意識向上と市町村の取組を促進し、適正なごみの分別を進めていく。 食品ロス量について、今後も消費者、事業者、関係団体、行政など多様な主体が連携した取組を促進するとともに、県民への啓発を行っていく。 一般廃棄物の1人1日当たりの最終処分量について、市町村と協力し、県民への啓発などを通じて、ごみの減量化やリサイクルを進めていく。 産業廃棄物の最終処分量について、企業が連携した取組の支援やリサイクル製品の活用促進によって、再資源化の徹底を図っていく。 						
指標の達成状況	一般廃棄物の再生利用率	%	策定時 R元年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	(参考値) R3年度
—			23.7	—	29.4	35.0	24.2
指標の達成状況	家庭系ごみの1人1日当たりの排出量	g/人・日	策定時 R元年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	(参考値) R3年度
—			528	—	476	428	526
指標の達成状況	食品ロス量	万t	策定時 H30年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	(参考値) R2年度
—			26.6	—	25.9	23.3	22.4
指標の達成状況	一般廃棄物の1人1日当たりの最終処分量	g/人・日	策定時 R元年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	(参考値) R3年度
—			34	—	31	27	32
指標の達成状況	産業廃棄物の最終処分量	万t	策定時 R元年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	(参考値) R3年度
—			19.3	—	15.4	14.8	15.3

3 みどりの保全と創出

施策展開の方向ごとの評価

C

状況	<p>・身近な緑の創出面積は、年度目標値を達成した。小規模な敷地面積（1,000㎡以上3,000㎡未満）においても確実に緑化を行ってもらうため、引き続き緑化計画届出制度の周知徹底を図っていく。</p> <p>・緑の保全面積は、年度目標値を達成した。今後も、地元市町と緊密に連携を図りながら、特別緑地保全地区など地域制緑地の指定や公有地化の推進を図っていく。</p> <p>・みどりのポータルサイトへのアクセス数は、年度目標値を大幅に上回り、達成した。今後も、若年層や現役世代に対する広報や情報発信等に注力し、団体の活動の広がりや新たな人材の確保に努めていく。</p> <p>・森林の整備面積は、市町村の森林環境譲与税を活用した森林整備がまだ十分に行われていないこと、コロナ禍でボランティアによる森林整備が減少したこと等から年度目標値を下回った。今後は市町村の支援やボランティア団体が活動しやすい状況を作り、森林整備面積の向上を図っていく。</p> <p>・県産木材の供給量は、十分な利益が還元されないことによる森林所有者の伐採意欲低下や、コロナ禍で住宅着工戸数が減じ木材需要が下がったこと等から年度目標値を下回り、かつ計画策定時よりも後退する結果となった。今後、サプライチェーン構築等、森林所有者へ利益還元が図れる仕組みづくりを支援していく。</p> <p>・民有林内の路網密度は、国庫予算の内示減に伴う事業量の減少により年度目標値を下回ったが、今後も施業地の集約化・団地化を図り路網整備を進める。</p>						
	指標の達成状況	身近な緑の創出面積	ha	策定時	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R4～R8年度の累計
	○			—	76.4	50.0	250.0
	指標の達成状況	緑の保全面積	ha	策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度
	○			557	567.3	561.0	569
	指標の達成状況	みどりのポータルサイトへのアクセス数	回/年	策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度
	○			17,000	45,890	23,000	35,000
指標の達成状況	森林の整備面積	ha	策定時	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R4～R8年度の累計	
△			—	1,376	2,500	12,500	
指標の達成状況	県産木材の供給量	m ³	策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	
▲			96,000	88,000	106,000	120,000	
指標の達成状況	民有林内の路網密度	m/ha	策定時 R2年度末	最新値 R4年度末	当該年度目標値 R4年度末	目標値 R8年度末	
△			23.2	23.7	23.9	25.4	

4 生物多様性と生態系の保全

施策展開の方向ごとの評価 **C**

状況	<p>・R4年度は新たに3箇所が希少野生動植物種の保護増殖箇所となり、順調に推移している。引き続き生物多様性センターと連携し、学校の生物科の授業等で活用しやすい保護増殖などの方法を検討する。</p> <p>・生物多様性の認知度は、策定時から横ばいとなっている。今後はホームページの一層の充実を図る他、SNSや県広報物などあらゆる機会・媒体を活用しながら、わかりやすい情報発信に努めていく。</p>					
指標の達成状況	希少野生動植物種の新規保護増殖箇所数	箇所	策定時	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4～R8年度の累計	目標値 R4～R8年度の累計
○			-	3	10	10
指標の達成状況	生物多様性の認知度	%	策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度
▲			67.7	67.2	70.0	75.0%以上

5 恵み豊かな川との共生と水環境の保全

施策展開の方向ごとの評価

B

状況	<ul style="list-style-type: none"> ・SAITAMAリバーサポーターズの個人サポーター数は年度目標値を大幅に上回り、達成した。引き続き、これまでの情報発信を継続して行うほか、令和5年度は鉄道ファンやハイキング愛好者をターゲットに取組を行い、取組を拡大していく。 ・生活排水処理率は、下水道の整備や合併処理浄化槽への転換などにより確実に伸びているが、高齢者世帯等の転換工事が困難な世帯があり、年度目標値を下回る結果となった。引き続き単独処理浄化槽の使用状況の把握に努め、これらの情報を市町村と共有することで効率的な転換を働きかけ、目標達成に取り組んでいく。 ・環境基準（BOD）を達成した河川の割合は年度目標値を達成した。引き続き水質改善を図るため、下水道や合併処理浄化槽などの生活排水処理施設の整備を更に促進していく。 ・1年間の地盤沈下量は2cm未満に維持することができている。今後も埼玉県生活環境保全条例に基づき、地下水の採取を規制し、地下水の過剰な採取による地盤沈下を防止していく。 						
指標の達成状況	SAITAMAリバーサポーターズの個人サポーター数（累計）	人	策定時 R2年度末	最新値 R4年度末	当該年度目標値 R4年度末	目標値 R8年度末	
○			0	13,018	8,000	24,000	
指標の達成状況	生活排水処理率	%	策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	
△			93.1	93.7	94.0	100.0	
指標の達成状況	環境基準（BOD）を達成した河川の割合	%	策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	
○			95	95	95	100	
指標の達成状況	1年間の地盤沈下量が2cm以上の地域の面積	m ²	策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	
○			0	0	0	0	

6 安全な大気環境や身近な生活環境の保全

施策展開の方向ごとの評価

A

指標の達成状況	○	微小粒子状物質（PM2.5）の濃度	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度
				10.3	9.7	10.2	10.0
				策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度
				1	0	0	0
○	建築物の解体等現場における大気環境中の石綿濃度 1 本/L以上の現場数	—	策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	
◎	化学物質管理に関連する研修会の参加事業所数（累計）	事業所	策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	
			493	898	560	720	

7 経済との好循環と環境科学・技術の振興

施策展開の方向ごとの評価

A

状況	<ul style="list-style-type: none"> 環境SDGs関連セミナーの参加企業数は、年度目標値を達成した。今後も、企業の環境分野のSDGsへの関心を高めるとともに、具体的な取組につながるような情報発信等を実施することで参加企業数の増加を図る。 研究成果の発表件数は、年度目標値を達成した。引き続き、研究成果の発表を積極的に行い、対外的な発信に努めていく。 環境分野における海外との交流者数は、年度目標値を達成した。今後は、海外研修生の受入れ体制の整備に努めていく。 						
指標の達成状況	環境SDGs関連セミナーの参加企業数（累計）	社	策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	
○			80	360	330	780	
指標の達成状況	研究成果の発表件数（累計）	件	策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	
○			3,479	3,729	3,723	4,700	
指標の達成状況	環境分野における海外との交流者数（累計）	人	策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	
○			1,045	1,134	1,132	1,480	

8 地域資源の活用や交流・連携による地域づくり・人づくり

施策展開の方向ごとの評価

B

状況	<p>・埼玉版スーパー・シティプロジェクトに取り組む市町村数は、年度目標値を達成した。今後も、できるだけ早期に県内の全市町村が、プロジェクトに取り組むよう、計画段階における支援をはじめ、技術的・財政的な支援や官民連携の支援などにより、全庁を挙げて市町村を支援していく。</p> <p>・地域清掃活動団体の登録数は、年度目標値を達成した。今後も、包括連携協定企業や清掃活動を行っている団体に対し、登録の働きかけを行っていく。</p> <p>・環境アドバイザー及び環境学習応援隊の数は、年度目標値を達成した。登録人材の拡大のため、市町村との連携を強化しつつ、情報発信を行っていく。また、環境学習応援隊は、認知度向上のため、関係課、市町村、関係団体と連携して情報発信を行っていく。</p> <p>・環境科学国際センターの利用者数は、コロナ対策による展示館「彩かんかん」の利用制限（複数校での受入れ中止）などが影響し、年度目標値を下回る結果となった。魅力的な企画や講座の実施、積極的な広報に努めることで、環境科学国際センターの利用促進を図っていく。</p>						
指標の達成状況	埼玉版スーパー・シティプロジェクトに取り組む市町村数	市町村	策定時 R2年度末	最新値 R4年度末	当該年度目標値 R4年度末	目標値 R8年度末	
○			0	29	18	46	
指標の達成状況	地域清掃活動団体の登録数（累計）	団体	策定時 R2年度末	最新値 R4年度末	当該年度目標値 R4年度末	目標値 R8年度末	
○			787	898	875	1,080	
指標の達成状況	環境アドバイザー及び環境学習応援隊の数（累計）	者	策定時 R2年度末	最新値 R4年度末	当該年度目標値 R4年度末	目標値 R8年度末	
○			188	208	206	248	
指標の達成状況	環境科学国際センターの利用者数（累計）	人	策定時 R2年度	最新値 R4年度	当該年度目標値 R4年度	目標値 R8年度	
△			977,031	1,051,699	1,066,000	1,246,000	